

新潟時事新聞

頁八てせ併夕朝

本紙は週休日を以て且つ趣味深き諸國の奇談並びに家庭衛生、文藝等の事項を初め、邪風なる娛樂記事を消滅せしめ、且つ本紙中の別天地なり。

十二月二年十二
可認郵種三第日在

新潟東北日報

六月五日
日十九日二十六日
西曆一千九百二十年
發行所 新潟市西堀通三番町
印刷所 青木重三郎
電話二一五番

(番六百二話電)

明 (日曜日祭大) 刊 休

新潟日報

編輯兼 玉木徳太郎
印刷人 青木重三郎
新潟市西堀通三番町
電話二一五番

明 (日曜日祭大) 刊 休

新潟日報

編輯兼 玉木徳太郎
印刷人 青木重三郎
新潟市西堀通三番町
電話二一五番

第三第 日月年十治

新潟新聞

本紙は生きたる家庭衛生、文藝に關する事項を始め各地の奇談、邪風なる娛樂記事を消滅せしめ、且つ本紙中の別天地なり。

物便郵種三第

新潟新聞

本紙は週休日を以て且つ趣味深き諸國の奇談並びに家庭衛生、文藝等の事項を初め、邪風なる娛樂記事を消滅せしめ、且つ本紙中の別天地なり。

物便郵種三第

新潟新聞

(刊創年九治明)

三月十日	六日	十三日	二十日
七日	十四日	二十一日	二十八日
四月十日	十七日	二十四日	三十一日
五月十日	十七日	二十四日	三十一日
六月十日	十七日	二十四日	三十一日
七月十日	十七日	二十四日	三十一日
八月十日	十七日	二十四日	三十一日
九月十日	十七日	二十四日	三十一日
十月十日	十七日	二十四日	三十一日
十一月十日	十七日	二十四日	三十一日
十二月十日	十七日	二十四日	三十一日

(番二五一號番話電)

